



トピックス 「猪苗代湖のラムサール条約登録を目指す」 講演会を終えて

去る10月19日土猪苗代町体験交流館「学びいな」で行われました講演会には、142名が参集し、呉地正行様、中村玄正様、黒沢高秀様の3名の講師の方々より、猪苗代湖のラムサール条約登録への思いを語っていただきました。



最初の呉地様からは、ラムサール条約登録湿地になることの意義と価値、そして、絶滅から復活したシジュウカラガンの取り組みの実践(鴈と農業との共生)について。また、中村様からは、猪苗代湖の水質の特徴と、自然の浄化作用により現在の猪苗代湖の

水が保っていることを。最後の黒沢様からは、猪苗代湖の七不思議とこれからの猪苗代湖の環境保全、そしてラムサール条約登録の意味についてそれぞれ話していただきました。

<以下は、会員からの感想の一部です。>

◆本日、大変興味深い講演会を企画して下さいありがとうございました。私は現在、大学院で農村の景観生態学、そして生物多様性についての修論を書いている途中です。ラムサール、また伊豆沼の話等が最近の関心であったこともあり、とても勉強になりました。現在の猪苗代湖の水質等の状態や、他と比較した場合の詳細、多様性の程度や地形の特徴等を詳しく知ることができ、より一層地元の水の源である湖を理解したいという思いが深まりました。なかなか会活動に参加できておらず、悲しいのですが、自分なりに勉強を深めながら、猪苗代湖がラムサール条約登録になれるよう、何らかの形で、野鳥の棲みよい環境を整える活動を応援したく、学業に専念してまいります。楽しく学ばせていただきました。

◆昨今、水質悪化が顕著にみられ、喫緊の課題とし、如何に水のpHが中和にならぬよう、今までどおり酸性に近づけるためにはどのような方法が最適なの

か？(高橋川の悪化等) 安全で安心して使用できる飲用水にするためには？ 郡山市・会津若松市・猪苗代町の発展に不可欠な猪苗代湖を将来のために、きれいな水、大切な水を残したい。

◆講演会では、猪苗代湖水質汚染の原因が主に植物であることに驚いた。しかも、人海戦術による水環境保全活動で改善できることに。里山が人の手で改善できるように里湖である猪苗代湖も、人間が関わって保全し、次世代へと繋いでいかなければならないことを改めて考えさせられた。あさか開成高校の生徒さんが水草回収の活動後、講演会に参加してくれたことに感謝でいっぱいである。もう一つは猪苗代湖の七不思議として、4番目の広さを誇る猪苗代湖なのに、観光に生かしていないこと、ビジターセンターすらなかったことに気づかされた。ラムサール条約登録による様々なメリット、デメリットを見通すことができとてもわかりやすかった。

◆猪苗代湖付近の田も「ふゆみずたんぼ」にするには、農家の方の協力が必要であり、今後協議していかなければならない。ボランティア活動だけでは限度があるので、関係機関の組織化も必要であろう。ラムサール条約登録はゴールではなく、スタートだ。その後の活動やPRについて考えていかななくては…。

◆貴重なお話ありがとうございました。沼尻方面から流れてくる硫黄川は猪苗代湖に悪さをしているかと思っていたら、リン除去に役立っていることに驚きました。COD・PH上昇の話もありましたが、水温上昇との相関はないのか疑問に思った。

◆ラムサール条約について、分かりやすく教えていただいた。猪苗代湖に飛来するコハクチョウの数が条約の基準を満たしており、地元住民の方々から条約登録への賛意が得られれば、条約登録地への可能性が高いとのことで、希望の持てる講演であった。

◆猪苗代湖の近くの猪苗代町で開催できたことが非常に良かった。講演会は、これからのスタートであって、今後は生物との共生や、自然の恵みを多くの方に伝えていくための交流・学習のあり方、さらに、関係機関のネットワークのあり方等、皆で協議していくことが、本当のラムサール条約登録になるのだろう。